

国語科事例4 ICTを活用した実践事例(小学校)

みちあんないをしよう

～相手に伝わるように、話す事柄の順序を考える～

第2学年 [知識及び技能] (2)ア [思考力, 判断力, 表現力等] A話すこと・聞くこと(1)イ・エ 言語活動例 A(2)ア

1 単元の目標

- (1) 共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。
[知識及び技能] (2)ア
- (2) 相手に伝わるように, 行動したことや経験したことに基づいて, 話す事柄の順序を考えることができる。
[思考力, 判断力, 表現力等] A (1)イ
- (3) 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞くことができる。
[思考力, 判断力, 表現力等] A (1)エ
- (4) 言葉がもつよさを感じるとともに, 楽しんで読書をし, 国語を大切にして, 思いや考えを伝え合おうとする。
「学びに向かう力, 人間性等」

2 教材名

ことばでみちあんない (光村図書 2年)

3 指導の内容と言語活動, 教材のかかわり

(1) 言語活動設定の意図

相手に伝わるように話すことからの順序を考えて話すこと, 話し手が伝えたいことを聞き落とさないように聞くことを目標とし, 道案内を言語活動として設定した。道案内は, 順序を示す必要がある。そのためには, 目印のものや方向を表すことばを使いながら, 相手に分かりやすく伝える必要がある。その際に, 「まず, つぎに, そして, それから」などを使い, 文の構成も考えられるようにしていく。一方, 聞き手は案内を正確に聞き取る必要がある。メモを取りながら聞き取ることで, 話し手の伝えたいことを聞き落とさないようにする。

【5つの言語意識】

- | | |
|--------|---|
| 目的意識 | 知らせたい内容を, 相手に分かりやすく伝えるために |
| 相手意識 | 学級の友達に対して |
| 場面状況意識 | 待ち合わせ場所の行き方を説明する場面で |
| 方法意識 | 挿絵を基に友達に道案内をしたり, 聞き手がメモを取りながら聞き, 内容を確認めたりすることを通して |
| 評価意識 | 相手に伝わるように, 話す事柄の順序を考えて話すことができたか |

(2) 教材の特徴(略)



ポイント 1

魅力ある言語活動を設定する

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア	① 「話すこと・聞くこと」において, 相手に伝わるように, 行動したことや経験したことに基づいて, 話す事柄の順序を考えている。(A (1)イ) ② 「話すこと・聞くこと」において, 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞いている。 (A (1)エ)	① 進んで, 相手に伝わるように, 話す事柄の順序を考え, 学習課題に沿って道案内をしようとしている。

5 指導と評価の計画 (A「話すこと・聞くこと」35時間中の4時間)

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	<p>○聞く人にとって分かりやすい道案内をするという学習の見直しをもつ。</p> <p>○教師の道案内を、メモを取りながら聞き取る。</p> <p>○相手に伝わるような道案内に直す。</p> <p>○分かりやすく伝えるためのポイントをノートに書き、学習を振り返る。</p> <p>○分かりやすく伝えるためのポイントを押さえた上で、教師の道案内を、メモを取りながら聞き取る。</p>	<p>・既習事項のメモの取り方を確認する。</p> <p>・はじめに情報が曖昧な道案内を、メモを取りながら聞く。</p> <p>・1回目は聞き手の立場に立って、待ち合わせ場所を、2回目に読むときは話し手の立場に立ってどのベンチかを、道案内を聞いた後に確認する。</p> <p>・教師がした道案内が分かりやすいかどうかとその理由を挙げながら、分かりやすく伝えるための必然性をもたせる。その後、分かりやすい道案内を全体で作るようにする。</p> <p>・分かりやすく伝えるために、待ち合わせ場所を言う位置や曲がる回数、方向、目印になることばなどが大切ということを押さえるようにする。</p> <p>・教科書の分かりやすい文も紹介する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○まちあわせばしょ ○みちじゅんどおり ○まがるほうこうや回数、めじるし</p> </div> <p>・教科書の挿絵を用いて、ポイントを押さえた道案内を聞き、待ち合わせ場所と道案内を聞き取らせる。</p>	<p>評価の場面を絞り、具体的にどのように評価するのかを考えておきます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[思考・判断・表現]② メモ・観察 ・相手が伝えたいことや聞きたいことを集中して聞いているかの確認 ・聞き取ったメモの内容の確認</p> </div>
<div style="background-color: #f96; color: white; padding: 5px; display: inline-block; border-radius: 10px;"> ポイント 2 </div> ➡			
2	<p>○遊園地内での道案内を考える。</p> <p>○友達に正確に伝えるために道案内に必要なことばや順序を表すことば(まず・つぎに・それから・そして)などを使い、道順をノートに書く。</p> <p>○道案内をし、よかったところやアドバイスを伝え合う。</p>	<p>・前時で整理した正しく伝えるためのポイント(待ち合わせ場所や曲がる方向、目印になるものなどの項目)を提示し、考えやすくする。</p> <p>・友達と道順を比べたり、相談したりしながら、道順を考えるよう助言する。</p> <p>・待ち合わせ場所と道順、目印などの言葉を使い相手に伝わるような道順を考えさせる。</p> <p>・タブレットに園内図を提示し、道順を書きこめるようにする。</p> <p>・道順の説明が書けない場合には、地図に書いた道順を一緒に確認しながら、説明文を書けるようにする。</p> <p>・道案内は地図を見ずに、聞いたことをメモしながら聞くように指示する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[知識・技能]① ワークシート ・事柄の順序を意識して書いているかの確認</p> </div>
3	<p>○校区地図を見て、待ち合わせ場所と待ち合わせ場所に行くための道順を考える。</p> <p>○声に出して、道案内の練習をする。</p>	<p>・前時を振り返りながら、道案内するときに気を付けることを提示する。</p> <p>・前時同様、必要な情報を書き出してから、話す順序を決めさせる。また、前時の道案内と比べながら、その順序にした理由を書くように指導する。</p> <p>・タブレットの校区地図に書きこみをしながら、道順を考えられるようにする。</p> <p>・友達同士で、声の大きさや速さなどでいいところを確認しあう。必要に応じて、タブレットの録音機能を使い、自分の案内の仕方を確かめられるようにする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[主体的に学習に取り組む態度]① ノート、観察 ・練習を通して相手に伝わるような案内を考え、話そうとしているかの確認</p> </div>

4	<p>○相手に伝わる道案内の仕方を確認する。</p> <p>○ペアで、道順と待ち合わせ場所を伝えたり、聞き取ったりする。</p> <p>○全体で交流する。</p> <p>○道案内をするという活動を通して、学んだことを振り返る。</p>	<p>・前時同様、道案内するときに気を付けることを提示する。</p> <p>・教師が見本を見せてから、活動をさせる。また、活動の仕方を提示する。</p> <p>・全体の前で発表させる。</p> <p>・話すときと聞くときに気を付けることについて記述できるように助言する。</p>	<p>[思考・判断・表現]① ノート・観察・タブレット (録音) ・相手に伝わるように、話す事柄の順序を考えて話している様子の確認</p>
---	---	---	---

6 本時の授業(第4時)

(1) 目標 相手に伝わるように、話す事柄の順序を考えて話すことができる。

(2) 授業の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 5分	<p>○相手に伝わる道案内の仕方を確認する。</p> <p>○本時の目標を知る。</p>	<p>・前時同様、道案内するときに気を付けることを提示する。</p> <p>・聞く時、話す時の観点を提示し、確認する。</p> <div data-bbox="657 869 1152 990" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○まちあわせばしょ ○みちじゅんどおり ○まがるほうこうや回数、めじるし</p> </div>	<div data-bbox="1184 779 1439 1048" style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>教科書の素材だけでなく、児童に身近な地図を素材にして、関心をもたせています。</p> </div>
展開 前半 20分	<p>じゅんじょを考えながら、えきから家までの道案内をしよう。</p> <p>○ペアで、道順と待ち合わせ場所を伝えたり、聞き取ったりする。(ペア)</p> <p>①一人が道案内をし、もう一人がメモを取りながら、聞き取る ↓</p> <p>②【聞き手】 メモを見ながら、タブレットの地図上に待ち合わせ場所を丸で囲む。 ↓</p> <p>③【聞き手】 ②と同様に、道順を書き込む。 ↓</p> <p>④【ペア】 ・待ち合わせ場所と道順が合っているか確認する。 ・分かりやすかったところや分かりづらかったところを伝え合う。</p>	<p>・教師が見本を見せてから、活動をさせる。また、活動の仕方を黒板に提示して児童が確認できるようにする。</p> <p>・メモを取りながら聞くようにする。</p> <p>・話す時の声の大きさと聞く時の姿勢(「聞き方あいうえお」)を提示し、意識させる。</p> <p>・案内する時には、前時で書いたノートの道案内の文や地図を見ながら伝えてもよいことを伝える。</p> <p>・道順を確認するために、聞き手が質問してもよいことを伝える。</p> <p>・タブレットに校区地図を提示できるようにし、道案内後に聞き手が見ながら、道順を確認させる。</p> <p>・ペアの組み方は隣同士にする。待ち合わせ場所は異なる場所でも同じ場所でもよい。同じ場所への道案内であれば、どこが同じか違うかの比較をさせる。</p> <p>・タブレットで案内の様子を録音させる。</p> <p>・聞く人は、メモを取りながら、聞く。</p> <p>・聞いた後は、自分の道案内と同じか、違うかなど比べさせる。</p>	<div data-bbox="1184 1124 1423 1393" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[思考・判断・表現]① ノート・観察・タブレット(録音) ・相手に伝わるように、話す事柄の順序を考えて話している様子の確認</p> </div> <div data-bbox="1184 1415 1423 1541" style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>ICTの活用も効果的です。</p> </div>
後半 10分	<p>○全体の前で発表をして、よかったところ、自分の話し方と違ったところなどを発表させる。</p>	<p>・道案内の文を大型テレビに写し、どこが分かりやすかったかをしるしをつけながら、確認する。</p>	

<p>まとめ 10分</p>	<p>○道案内をするという活動を通して、学んだことを振り返る。</p> <p>・めじるしを使って話せた。 ・待ち合わせ場所のメモがとれた。</p>	<p>・話すときと聞くときに気を付けることについて記述できるように助言する。 ・書くのが難しい場合には、伝える時のポイントの視点ができたかどうかを児童に確認させて、書かせる。</p>	
--------------------	---	---	--

ポイント 3

生徒の具体的な姿を想定する

(3) 本時の評価



「十分満足できる」状況(A)と判断する姿

順序を表すことばを使いながら、相手に伝わるように、話す事柄の順序を考えて話すことができる。

「おおむね満足できる」状況(B)と判断する姿

相手に伝わるように、話す事柄の順序を考えて話すことができる。

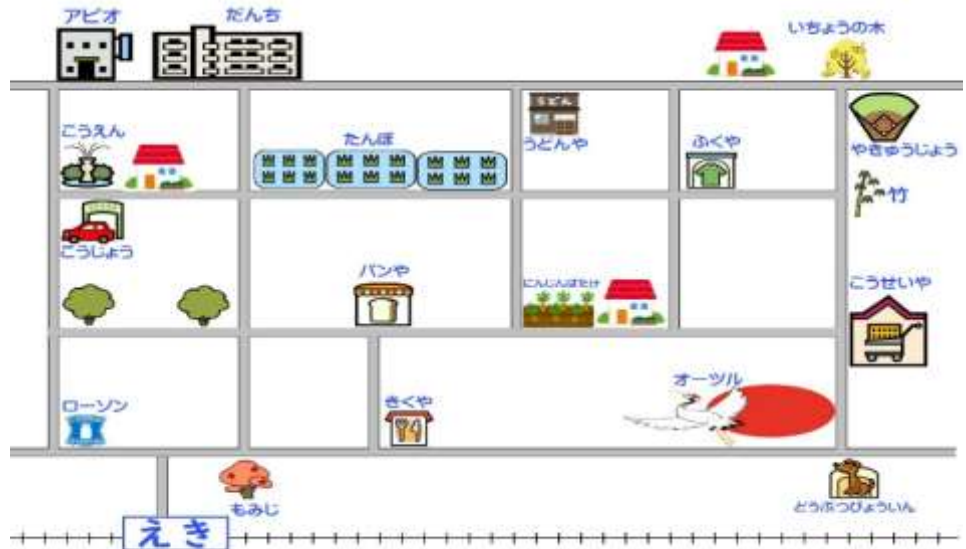
「努力を要する」状況(C)と判断した児童への手立て

ワークシートを使ってこれまでの学習を振り返りながら、話す事柄の順序を考えさせる。

7 資料

【教材及び板書計画】

○校区地図



○板書

ことばでみちあんない

えきから家までの道あんないをしよう

ポイント

○まちあわせばしよ

○まがるほうこうや回数, めじるし

○みちじゅんどおり

やり方

①話す人
地図を見る。

①聞く人
地図を見ない。
メモをとる



②まちあわせばしよと道じゅんの答え合わせ

③わかりやすかったところ
アドバイス

④話す人と聞く人をこうかん

○道あん内の学しゅうを通してできるようになったこと